

磯浜の生き物と環境

厳しい寒さと強風が吹き荒れる季節を迎えています。海は時化（しけ）ることが多くなり、磯浜の外海（そとうみ）に面した岩場には強い波が打ちつけています（写真1）。

一方、同じ時間帯の内海（うちうみ）の様子は写真2の通り、護岸によって守られ、とても穏やかです。この波あたりの違いで、そこにくらす生き物の種類に変化が見られます。例えば、外海に面した岩場ではフジツボの仲間のクロフジツボが、強い波にもまれながらもしっかりと岩にはりついてます（写真3）。一方、内海の岩場にはクロフジツボはほとんどみられません。また、冬の今頃には外海の岩の表面にはノリ（アマノリ類）が目立つようになります（写真4）が、内海の岩にはほとんどついていません。

磯浜では、このような波あたりの強さだけでなく、潮の干満、水温や塩分、砂場か岩場かなど様々な環境の違いがあり、近いグループの生き物でも分布や暮らし方に違いが見られたり、同じ種類でも形が少し違う場合もあります。そんなことを考えながら環境による違いを比較して観察すると、より生き物が面白く見えてきますよ。



写真1



写真2



写真3



写真4

